



# 子どもの成長を見ていこう！



発達期	新生児期	2ヵ月	4ヵ月	7ヵ月	10ヵ月	1歳	1歳半	2歳	2歳半	3歳	4～6歳
主な特徴	外界に適応するために、各機能を調節する時期。	一生のうちで最も成長する時期。機嫌の善し悪しが表情にだせる。	首がすわる。夜と昼の区別がついて昼間いろいろな刺激をうける。	短い期間の記憶ができる。(夜泣き)	探す、みつめる、探究心旺盛。	立って歩く。	全身を使って遊ぶ。様々な感情表現がでてくる。	反抗期が始まる。自我が発達する。	→	自分の意志で行動したい時期。	反だちと遊ぶのが楽しい時期。集団のルールを教える。
体をつくる	身長	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
	体重	g	g	g	g	g	kg	kg	kg	kg	kg
栄養	母乳・ミルク		<5ヵ月> 母体からの貯蔵数がなくなる時期。離乳食はなめらかにすりつぶした状態。	舌でつぶせる固さ。 <b>離乳食2回 (ヵ月)</b>	<9～11ヵ月> 離乳食3回/日 <9ヵ月頃> 歯ぐきでつぶせる固さ。	手つかみ食べ。 <1歳頃> 歯ぐきでかめる固さ。	<b>離乳食完了 (歳 ヲ月)</b> (栄養の大部分を食事からとれる)				
免疫	赤ちゃんは抗体を作る力が弱い。	BCG …母から免疫をもらえない。百日ぜき 破傷風 …母からもらった免疫は3ヵ月ぐらいで消失。麻疹 (はしか) …母からもらった免疫は12ヵ月までにほとんど消失。									抗体をつくる力が大人並みになる。(4歳)
排泄	ぼうこうに尿がたまると反射的にでる。	※早寝早起きの生活リズムで過ごすことで深い睡眠になり、夜尿をつくらない。ホルモン (抗利尿ホルモン) がでて夜の尿量が減少してくる。					ぼうこうに尿がたまると尿意を感じ尿意を教える。まだがまんができない。		尿意もわかり、がまん出来るので尿間自分の意志で尿を出す。		4歳半 自分の意志で自由に尿を出すことができる。(大人と同じ動き)

## 発達の過程

人や社会とのかわり		あやすと笑う (ヵ月)		人見知りをする (ヵ月)		バイバイなどのまねをする動作ができる (歳 ヲ月)		指さし行動ができる (歳 ヲ月)		自分の名前が書える (歳 ヲ月)	自分の意思を通そうとする段階を経て、泣かずに自分の欲求処理をできるようになる。そして、徐々に周りの状況を理解・判断して自分の行動を決定していくことができる。	
ことばの発達		あやして笑う (ヵ月)	声の方に振り向く (ヵ月)			意味ある1語を言う (歳 ヲ月)		体の部位 (目・口・耳・鼻など) を示す (歳 ヲ月)			まず聴く脳が発達する。そして、言葉を理解する脳、発音する脳と順々に発達して話ができるようになる。	
手や指先の運動		遠視ができる (ヵ月)	物に手を伸ばす (ヵ月)			なぐり書きできる (歳 ヲ月)		2～4個の積み木などを積むことができる (歳 ヲ月)		紙を1回折ることができる (歳 ヲ月)	五感の体験を通して脳が発達すると共に周りの物に興味を示し、徐々に指の複雑な動きができるようになる。指の動きの発達で道具を自由に使えるようになる。	
全身の大きな運動			うつぶせで頭を45度あげる (ヵ月)	寝返りができる (ヵ月)	つかまり立ちができる (ヵ月)	支えなしで座れる (ヵ月)	上手に歩く (歳 ヲ月)	階段を登れる (歳 ヲ月)	ジャンプができる (歳 ヲ月)	片足立ちができる (歳 ヲ月)	自分の体が思い通り動くには脳 (上) から下へ発達する法則がある。つまり、筋肉は首から脚への順序で発達する。体を動かす脳、姿勢を保つ脳、運動の組み立てをする脳、バランスを取る脳が発達して一人で歩けるようになっていく。	
備考 (気づいたことを記入してください)	<新生児訪問>	<こんにちは赤ちゃん事業>	<股関節健診>								<1歳6ヵ月児健診>	<3歳児健診>